

第0章 はじめに

伊藤のパートについて

教科書



実践的ソフトウェア工学

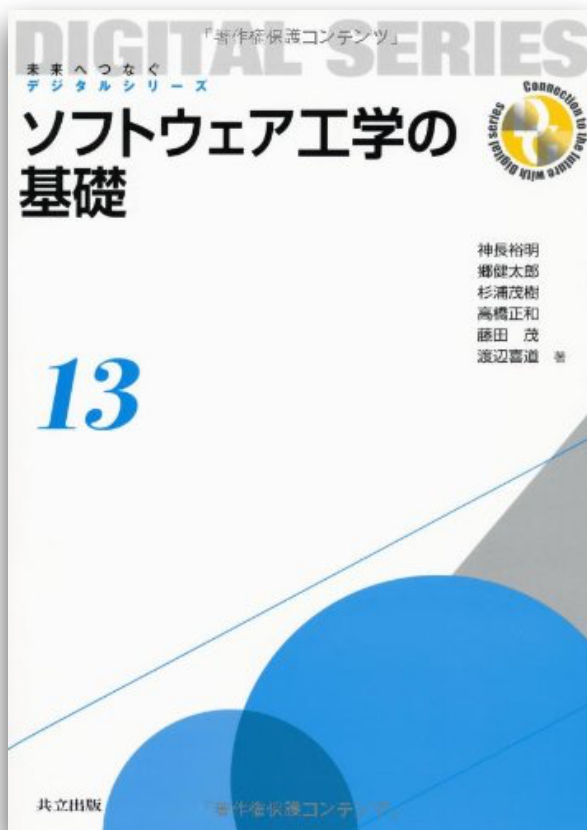
第2版：実践現場から学ぶソフトウェア開発
の勘所

トップエスイー入門講座

浅井 治 (著), 石田 晴久 (監修)

形式: Kindle版もあり

参考書



神長 裕明・郷 健太郎・杉浦 茂樹・高橋 正和・藤田 茂・渡辺 喜道著

シリーズ名 未来へつなぐ デジタルシリーズ 【13】 巻

ISBN 978-4-320-12313-7

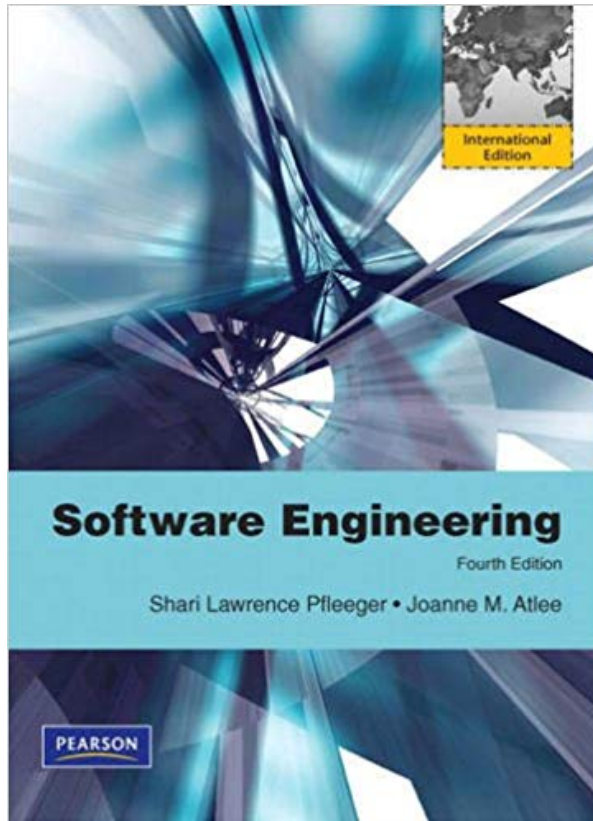
判型B5

ページ数204ページ

発行年月2012年09月

本体価格2,600円

参考書



Software Engineering: Theory and Practice (英語) ペ
ーパーバック - 2009/7/1
- (著)

参考書



ソフトウェア工学—理論と実践 単行本 –
2001/11

シャリ・ローレンス プリーガー (著),

教科書



神長 裕明・郷 健太郎・杉浦 茂樹・高橋 正和・藤田 茂・渡辺 喜道著

シリーズ名 未来へつなぐ デジタルシリーズ 【13】 巻

ISBN 978-4-320-12313-7

判型B5

ページ数204ページ

発行年月2012年09月

本体価格2,600円

世帯当たりの情報コストの推移

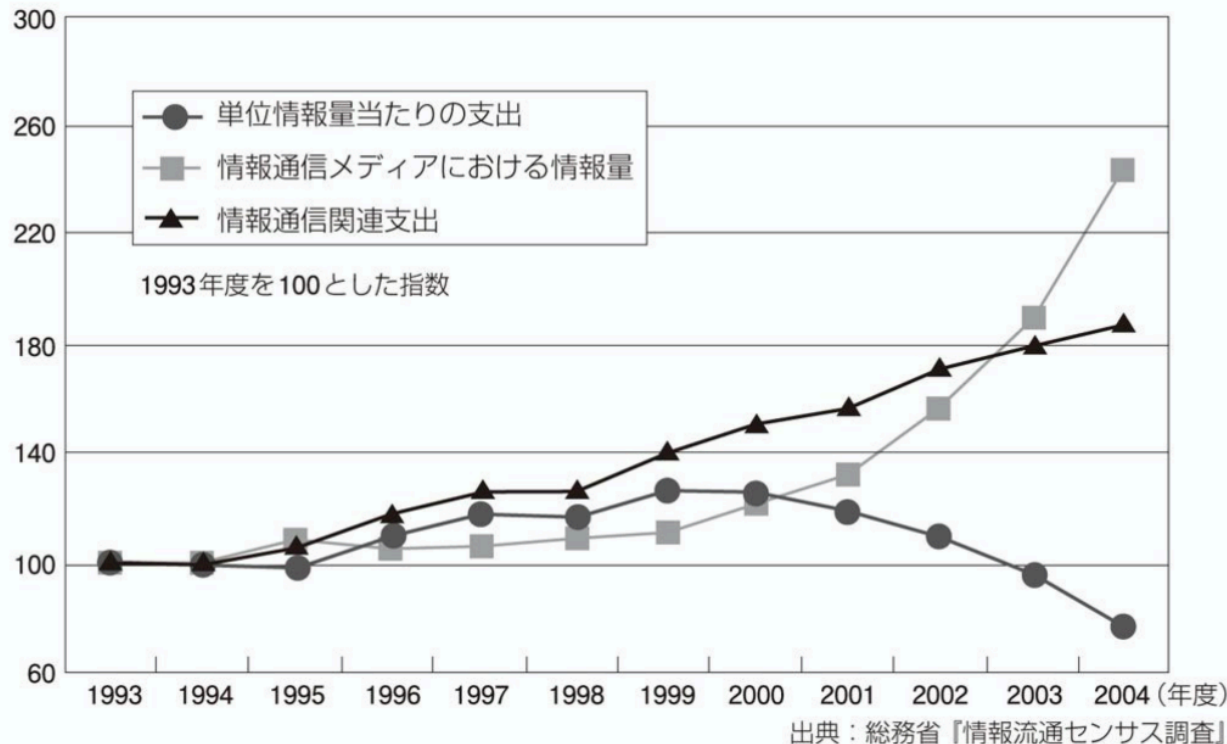


図 0.1 世帯当たりの情報コストの推移

教科書p.2より

- ・ 今やコンピュータなしでは生活できない
- ・ 情報通信関連の支出は増えている
- ・ 単位情報量当たりの支出は最近減っている
 - ・ サービスと言う実体のないものへの支出であるため、水道などと同じような生活必需品である
- ・ 情報通信メディアによる情報量は激増している

ITサービスは、一連の水の流れのように簡単に流れるものでなければならない。

「生産者の使命は貴重なる生活物資を水道の水の如く無尽蔵足らしめることである。いかに貴重なるものでも、量を多くして無代に等しい価格をもって提供することにある。」 松下幸之助 「水道哲学」

（『松下幸之助「一日一話」」〔1月18日〕, 1994, PHP 総合研究所, より引用）

教科書p.3より

ITビジネスは今後も拡大し続ける可能性が高い。

しかし、収益も上がると考えるのは短絡的。

$$\boxed{\text{収益} = \text{売上} - \text{コスト}}$$

収益を上げるためには、売上を上げなくてはならない。売上を上げるためにはコストも下げなくてはならない。

適正な収益を上げるためには、適正なコストコントロールが必要である。

コスト削減に、科学的に取り組むのが「ソフトウェア工学」である。

ソフトウェア工学

- ・ソフトウェア工学はダイクストラらによる論文に端を発し、「ソフトウェアの危機」により始まった
- ・様々な方法論が提案されているが、正解はない。あなた次第！
- ・全てを網羅できるわけではないが、実践的なノウハウとヒントが盛り込まれている。考え方やベストプラクティスに触れ、適宜、現場で試してみることをお勧めしたい。
- ・「皆さんは作る側の人であり、使う側の人でない」使う側の人で考えることが重要である
- ・エンジニアとして物事の本質を掴み、探究、発見、学習する喜びを学ぶ。「興味をもつ」ことが重要である。
- ・エンジニアの視点
 - ・ このサービスはどのようなビジネスモデルに基づくのであろうか
 - ・ この機能はどうやって実現しているのか
 - ・ 情報システムはどのように関係しているのであろうか
 - ・ あれと、これを組み合わせると、面白いことができるのではないか
 - ・ この機能を開発するのに、何人月かかったのであろう